

2018年3月28日

【ドリームムービー通信：第4号】

「御社の動画に 起・承・転・結 は？」



以前、ポストプロダクションで
動画編集オペレータとして勤務していた時に、
ある番組のディレクターがこう言っていました。

「とにかく構成が全てなんだ！」

「構成がしっかりしていないと、
どんなによく撮れた映像やインタビューでも視聴者には伝わらない」
といつも周りのスタッフに伝えていたのです。

放送番組だと視聴率という分かりやすい結果が出るので、
その結果をもとに番組のコーナー構成を変更していました。
コーナーとは番組を構成する各コンテンツのことです。
実際にコーナーの順番を変更するだけで、視聴率に影響がありました。

構成は、結局のところ物事の順番と考えれば、
起承転結が最も基本的で興味を惹くと言われていています。

中でも重要なのが“転”のように思います。

例えば

“起”物事の設定があり、

“承”状況の説明があり、

“転” 現状打破への行動があり、

“結” 行動の結果となるわけです。

こう見ると“転”がなければ、
無味乾燥な話になってしまうでしょう。

これをビジネスに置き換えると…

“起” 30年続く商店街の果物屋さん、

“承” 売上の減少が続く、

“転” HPでPR動画を配信、

“結” HPを見たお客さんから問い合わせが殺到！

と、こんなに事が上手く運ぶかは分かりませんが、
このような展開が理想的ですね。

ところで、みなさまの企業活動において、
“転”とは一体何でしょうか？

どんな企業にも紆余曲折のストーリーがあるはずです。

絶体絶命の主人公が新たな力を手にして危機を脱する！
ヒーロー映画でよくあるパターンです。

映画のように劇的ではないとしても、
どんな企業さまにも解決すべき問題があるはずです。

さて、わたしたちの仕事は、
皆さまの物語の“転”になることだと思っています。

言い古されたフレーズですが、
インターネット、You Tube、SNS が登場してから、
動画はより身近なものになりました。

映画、テレビしか映像メディアがなかった頃に比べると
全く違う時代になっています。
動画コンテンツさえあれば世界に向けて発信できる時代です。

動画制作の敷居も低くなりました。
一昔前は、放送用の高価な機材を持つ
映像制作会社に依頼するのが主流でしたが、
現在は一台のパソコンでクオリティの高い作品を作ることが可能です。

より身近になった動画を制作・活用すれば、
みなさまの物語の“転”になるはずです。

例えば、当社が制作協力をさせていただいている企業さまの
公式 You Tube チャンネルです。

=====
コモンズ投信さま
「コモとーく」、「マンスリービジョン」
<https://www.youtube.com/user/COMMONSTV/videos>
=====

一般個人の方に投資を提供する運用会社である「コモンズ投信」さまは
月次動画を通して会員のみなさまに情報を提供されています。
動画は「コモンズ TV」（HP・You Tube）より配信中です。

2 作品の撮影を午前中の 2 時間で終え、
翌日には動画をお届けするといった、スピード感のある制作で、
当社もご協力させていただいています。

パソコンの性能向上による動画制作の時間短縮、
そして何よりもインターネットが
よりパーソナルな動画配信を可能にしました。

自らが“チャンネルを持てる”という時代です。

コモンズ投信さまは、コミュニケーション手段の一つとして
動画を活用し、顧客と情報共有することで信頼関係を深めています。
これもひとつの“転”と言えるのではないのでしょうか。

ひとつの動画が世界へ発信され、
あなた（貴社）の物語は新しい章へ展開、いや転回していくかもしれません。

最後までお読みいただきありがとうございました。